

北野 岸柳（きたの・がんりゅう）

1、プロフィール

川柳作家。本名佐々木秀茂。蟹田町おかじょうき川柳社代表。昭和 59 年、川柳界で初の県芸術文化奨励賞を受賞。「川柳ふおーらむ洋燈」を主宰、新人の育成にも尽力した。

<生没>

1946(昭和 21)年 3 月 9 日～2023(令和 5)年 7 月 6 日

<代表作>

川柳句集『男の紙芝居』『風の街から』

<青森との関わり>

東津軽郡蟹田町生まれ。作品を通じて「現代川柳」を訴え、また川柳教室においても新人の育成に努めた。

2、作家解説

1946(昭和 21)年、東津軽郡蟹田町に生まれる。

県立青森高等学校を卒業後、法政大学法学部政治学科を中退し、東京で多くの就職を経験した後、旅館の後継ぎのために帰郷し、蟹田町役場に勤務した。1974(昭和 49)年、川柳と出会い、翌年、おかじょうき川柳社同人となり杉野十佐一氏に師事し、氏の最後の弟子となる。全国から投句者を集める同結社で、4代目の代表を務めた。1979(昭和 54)年には杉野草兵、高田寄生木、野沢省悟と研究句会「Cの会」を創立し、作句研鑽活動を行った。

1984(昭和 59)年、川柳界では初の青森県芸術文化奨励賞を受賞後、全日本川柳大会川柳大賞、青森県川柳大会県知事賞、第 7 回大雄賞などを受賞する。

1989(平成元)年には町役場を退職してフリーとなる。数々のテレビ番組に出演したほか、1988(昭和 63)年から 13 年間にわたりFM青森のラジオ番組「これでも川柳おれは岸柳」のメインパーソナリティーを務め、人気を博した。また、「津軽弁

の日」を主催する「津軽弁の日の会」の初期メンバーとして20年間レギュラー出演した。また、NHK文化センター川柳教室等の活動を通して、新人の育成にも尽力した。1998(平成10)年から2001(平成13)年には蟹田町議会議員を務めた。

主な著書に、川柳句集『男の紙芝居』(路上社)、『風の街から』(北の街社)がある。

2023(令和5年)7月6日、青森市内の病院で死去。享年78。